



3
①本町三丁目が代々受け継ぐ白獅子頭。慶應2(1866)年に金沢の宮大工が製作したとされます。②20年ぶりに新調された豊年野菜神輿。野菜や果物の装飾は前日に行います。③今年の獅子舞と豊年野菜神輿による“アワセ”は、布市神社の秋祭りに合わせて行われました。



2
豊年野菜神輿は、本町二丁目において、布市神社の秋祭りに行われる行事です。戦時中などには中断を繰り返しましたが、昭和50年に地元の有志が復活させました。みこしには、ニンジン、タマネギ、クリ、シシトウ、レンコンなどの野菜や果物が装飾され、みこしの屋根は稲わら、その頂上にはススキなどで製作された鳳凰が載せられます。野菜を装飾するみこしは、全国でも大変珍しいものです。みこしは地元の老若男女によって担がれ、神主やヤヒコババ、巫女に扮した子どもと一緒に町内を練り歩いて秋祭りを盛り上げます。

デジタル資料館で過去の映像が見られます▼



市指定無形
民俗文化財

獅子舞と豊年野菜神輿

令和5年7月1日に市指定無形民俗文化財となった市内5地区の獅子舞(本町一丁目、本町三丁目、本町四丁目、栗田、中林)と豊年野菜神輿(本町二丁目)。地域の民俗芸能を今に伝える行事として、これからも永く継承されていくことが期待されます。そんな獅子舞と豊年野菜神輿を広く知ってもらうため、今月の特集では、その歴史や今年の“アワセ”の様子などを紹介します。

伝統の演舞 獅子舞

獅子舞は、アジアに見られる文化で、8世紀ごろに中国から伝来し、次第に日本的な要素が加わって今日に至るとされています。現在も日本全国で見られる民俗芸能ですが、その芸能や実施時期は地域によって異なります。

野々市の獅子舞は、巨大な胴体に蚊帳(布)をかぶせる“加賀の大獅子”に分類されます。10月の祭礼時に行われ、演舞はいずれも棒振りが獅子を退治する「獅子殺し」を演じます。



本町一丁目の獅子舞
保持団体
本町一丁目青年会



本町三丁目の獅子舞
保持団体
本町三丁目獅子舞保存会



本町四丁目の獅子舞
保持団体
本町四丁目青年会



栗田の獅子舞
保持団体
栗田連合町会



中林の獅子舞
保持団体
中林獅子舞保存会



豊年野菜神輿
保持団体
野々市豊年野菜神輿保存会

野々市の獅子舞の用語

獅子頭

獅子の頭となる部分。木製(主に桐材)で、木目を見せるもの、皮を張るもの、漆を塗るものなどさまざま。頭を持つ人のことをカシラモチ*と呼ぶ。

蚊帳

獅子の胴体にかぶせる布のこと。一般的には胴幕と呼ぶが、特に加賀の大獅子にかぶせる巨大な胴幕を蚊帳と呼ぶ。ほとんどの蚊帳は牡丹(ぼたん)に巻き毛の模様。胴体の後部には、朱色に染めた麻を竹竿で垂らした“尾”が付く。

棒振り

獅子に立ち向かう剣士のこと。子どもや大人*が演じ、夏ごろから棒振りの練習を行うところが多い。武具は棒・太刀・なぎなたを中心とし、演者も1人から3人*の組み合わせがある。



弥彦・弥彦婆・コジキボウズ

天狗(てんぐ)面をかぶり、風変わりな着物を着て錫杖(しゃくじょう)を持つ。一斗缶をひもで体に結び付け、ガラガラと音を立てて獅子が来たことを家々に知らせる*。野菜神輿では、天狗面の風体の者は「コジキボウズ」と呼び、「弥彦」は子どもが演じる鬼の面で修行僧の姿をした者を指す。



懸帯前

カシラモチを中心に、獅子側に立つ若衆。“懸帯”という帯を腰に提げる。帯には栗田・中林は「若」、本町地区は旧町名にちなみ、一丁目は「荒」、三丁目は「中」、四丁目は「西」の一字を刺しゅう。

お囃子

演舞中や道中に流れる曲のこと。お囃子を演奏する囃子方を結成している地区もある。笛、太鼓、三味線を用いる。

*地区により異なります。

こっちの文化財もチェック!

市勢広報特別番組

野々市の虫送り

市公式YouTubeで
11月2日(土)から配信開始!

令和6年7月1日に市指定無形民俗文化財に指定された富奥・御経塚・押野の虫送り。それを記念し、虫送りの様子を伝える特別番組を作成しました。

9月末~11月初旬までときめきQハイビジョン(CATV・009ch)で放送し、11月2日(土)からは市公式YouTubeで配信します。

市公式YouTube
はこちら▶



今年の本町地区の様子は4, 5ページ



1・3 棒振りと相対する獅子。周囲を取り巻く若衆がはやし立てます。
2 刀を掲げて切りかかる少年剣士たち。野菜神輿と一緒に町内を練り歩きました。
4・5 道中を盛り上げのお囃子。
6 カミーノの駐車場いっぱいに形作られた人の輪。ここで「アワセ」が披露されました。
7 野菜神輿は大小2種類。大きなものは男性、小さなものは女性や子どもたちが担ぎました。
8 獅子に立ち向かう棒振り。
9 巨大な獅子の移動は数人がかり。



技と意思を守り継ぐ



5年ぶりの
4町「アワセ」
10月13日(日)、秋祭りに合わせて、本町の獅子舞(本町一丁目・三丁目・四丁目)と豊年野菜神輿(本町二丁目)が早朝から本町の町内を巡行しました。そして午後1時、3組の獅子と野菜神輿がにぎわいの里のいちカミーノに集結。棒振りやお囃子などの人々が一同に会し、その周囲を大勢の見物客が取り囲みました。徐々に熱気が高まります。「下ザイトーザイ！」
落ち着かない会場の雰囲気、いよいよ5年ぶりの4町「アワセ」が始まりました。それぞれの団体が受け継ぐ伝統の演舞が矢継ぎ早に行われ、棒振りや獅子舞の動きの違いが如実に見て取れます。威勢のいい掛け声とともに披露される演舞に、観客からは大きな歓声と割れんばかりの拍手が巻き起こっていました。